

令和6年3月11日（月曜日）

予算決算委員会総務分科会

第1委員会室

出席委員

三和 衛、妻鹿幸二、有馬剛朗、宮下和也、
常盤真功、石堂大輔、竹中由佳、坂本 学、
谷川真由美

【総務委員会（消防局）の審査】

再開

10時38分

消防局

10時38分

送付議案説明

・議案第1号 令和6年度姫路市一般会計予算

質疑

10時55分

（質問）

債務負担行為について、自動車メーカーにおいて新保安基準への対応から車両の製造が一時停止されていたため、発注から納入までに時間を要すると説明があったが、全国的に消防車等の納車が遅れているのか。

（答弁）

全国的なものである。

メーカーでは新保安基準への移行の準備をしていたが、自動車業界の半導体不足等から製造が遅れており、年度内に納入できない事態が全国的に広がっている。メーカーに働きかけているが、なかなか改善されない状況である。

（要望）

新車両を配備予定だった部署の業務に影響しないようきちんと対応してもらいたい。

（質問）

物品売払収入について、令和6年度予算額がゼロであるが、どのような歳入が対象になるのか。

（答弁）

令和5年度は古い消防艇の売払い収入を予算計上していた。

過去には消防年報の売上げを計上していたが、今はインターネット配信をしている。

（質問）

電気自動車のミニバンを4台購入するとのことで

あるが、電気自動車はガソリン車と比べて航続距離が短く、片道60～70キロメートルも走れば帰りの心配をしなければいけない状況も起こり得る。日常業務で使用するのなら問題ないと思うが、緊急の業務において、どのような形で使用しようと考えているのか。

（答弁）

電気自動車については、査察車として4台分を予算計上している。査察車とは連絡車のようなものであり、災害時に使用するものではない。

消防局としては、軽自動車購入の予算を要求したが、公用車へ積極的に電気自動車を導入する市の方針から、電気自動車を採用することになったものである。

（質問）

姫路東消防署の移転に伴う増位出張所改修工事の実施設計委託が予算計上されている。先日、令和6年度には着工しないと思いつつ、工事に当たり業務に支障を来さないのかと尋ねたときに、敷地を拡張しないと聞いた。それでは職員用の駐車場がなくなってしまうと思うが、駐車場の確保について、どのように考えているのか。

（答弁）

現在、増位出張所では、消防車と救急車の乗換え運用を行っているが、東署からの距離が遠くなることから、消防、救急をそれぞれ1隊ずつ設けることとなり、居室等を改築するものである。敷地内のあまり使っていない箇所をつぶして増築しようと考えている。

駐車場については、敷地を有効に活用して、車通勤の職員が駐車できるように検討しているところであり、何とか確保できる見込みである。

（質問）

御国野出張所大規模改修工事によって、女性隊員が宿直できるようになるのか。

ほかの出張所においても、女性隊員が宿直できるような形になっているのか。

（答弁）

御国野出張所については、仮眠室の個室化をしようとしているが、敷地が狭いため、女性用の風呂やトイレの整備までは難しい。将来、2号線拡幅等の

ために移転することになれば整備したいと思う。

増位出張所の改築工事においては、女性専用設備を整備しようと考えている。

(質問)

消防団員の準中型自動車運転免許取得補助について、対象人数が25人ということであるが、消防団の分団は72もあるのに25人分で足りるのか。

消防車両を運転できる人を1分団当たり何人ぐらい確保しようとしているのか。

(答弁)

平成19年6月までに普通免許を取得した人は8トンまで運転できるが、道路交通法の改正により、それ以降に取得した人は5トンまでしか運転できなくなった。

平成29年6月にさらなる法改正があり、3.5トンから7.5トンまで運転できる準中型免許が新設されたことから、普通免許で運転できるのは3.5トンまでとなった。

通常は普通免許しか取らないため、平成29年6月以降に免許を取得した人は、消防自動車を運転することができない。

現在、消防団員のうち消防自動車を運転できる資格者は2,514人で、全体の87.8%であるが、平成30年から令和5年にかけて普通免許のみ取得している団員が増えてきている。行政が準中型免許の取得を補助することで、消防自動車を運転できる団員を確保していきたいと考えている。

(質問)

今、消防局に女性職員は何人いるのか。

そのうち、宿直を含めた勤務をしている人は何人いるのか。

(答弁)

現在、消防局の女性職員は27人である。

そのうち10人が毎日勤務の日勤である。残り17人は隔日勤務で、女性対応が可能な防災センターや消防署の本署等に配置されており、指令業務や救急業務、消火業務等に就いている。

(質問)

日勤救急隊の創設について、1隊5人の中には女性も含まれると思う。勤務が月曜日から金曜日までということは、決まった5人が平日日中に勤務する

という理解でよいのか。

(答弁)

令和6年度は試行的な運用であるため、正規職員、女性職員、再任用職員からなるメンバーで固定しようと考えている。

将来的には365日対応とし、役職定年となった職員や女性等を対象に組織したいと考えている。

(質問)

令和6年度、姫路東消防署新築工事実施設計委託の予算が計上されているが、令和5年度には基本設計等に関して議論してきたところである。基本設計の進捗状況について説明してもらいたい。

(答弁)

基本設計の期間が令和6年3月末までとなっているので、成果物がまだ提出されていない。その結果を踏まえて、総務委員会にパースや基本的な構造等の概要を示したいと考えている。

役職定年者挨拶

消防局終了

11時18分

【総務委員会（デジタル戦略本部）の審査】

デジタル戦略本部

13時19分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和6年度姫路市一般会計予算
- ・議案第12号 令和5年度姫路市一般会計補正予算（第8回）

質疑

13時36分

(質問)

庁内プリンタの統廃合について、庁内全体でどれぐらいの削減になるのか。

(答弁)

160台弱が80台ぐらいになるので、約半分になる。

(質問)

新たに設置する認証プリンタについては、どのような仕様になるのか。

(答弁)

IDとパスワードを入力してプリントするパターンと、マイナンバーカードを利用するパターンの2つを考えているところである。

現在、おおむね各課に 1 台のプリンタを設置しているため、セキュリティをあまり厳しくしていない。中には、印刷データにパスワードを設定し、プリンタにパスワードを入力して印刷している部署もあるが、印刷するとそのままプリンタから出力されるところがほとんどである。

今後、プリンタをおよそ 2 課に 1 台に集約すると、間違っただけで他課の印刷物を持って行ってしまいう可能性が出てくるため、指示した文書だけを出力するようにしようとしている。

(要望)

庁内のプリンタが半分ぐらいになると、スペース的なメリットもあると思う。

セキュリティに関しても、印刷したものを誰かが盗ろうと思えば盗れる状態にあるのは非常に心配なので、認証プリンタの導入によって安心できる。引き続き、セキュリティを高めるよう取り組んでもらいたい。

(質問)

国勢調査にかかる調査区設定事務について、調査区を設定することで調査員の負担が減るといえるのか。

(答弁)

5 年に 1 度の国勢調査は、次回、令和 7 年 10 月に実施する。調査年の前年に行う調査区の設定については、調査員が楽になるようなものではなく、調査に向けて姫路市内 4,000 弱の調査区を確認するためのものである。

(質問)

人流データ分析ツールとは、以前に広畑地域の渋滞対策においてビッグデータを活用したようなものなのか。

(答弁)

令和 5 年度には、検索ビッグデータというパソコンやスマートフォンの検索データから、どこにどの年齢層の人が何人ぐらいいるのかといったことを分析した。

人流データ分析については、携帯電話の位置情報等から、人がどのような動きをしているのか分析するものである。

例えば、従来の交通量調査では、人の目視によっ

てチェックしていたが、携帯電話の位置情報を利用して調査、分析していく。

それらを観光施策の立案や交通計画等の策定に生かしていきたいと考えている。

(質問)

大手キャリアの全てが対象になるのか。

(答弁)

全てではない。入札もしくはプロポーザルを実施して、どこかのキャリアと契約する形になる。

(要望)

全市のデータをしっかり分析して、結果を様々な施策に活用してもらいたい。

(質問)

E B P M 実践支援事業委託や行政情報分析基盤運用及び機能拡充業務委託などを行って、どのような政策を進めようとしているのか。

(答弁)

例えば、マイナンバーカードについて、取得者の年齢層や小学校区別の所有人数等を調べて、持っていない人が多い地域に集中的に PR することで、効果的な広報ができる。

ほかにも、コンビニエンスストアにおける住民票等の交付状況を見ながら、現状分析しているところである。

(質問)

検索ビッグデータ（ペルソナ）分析ツールについて、対象者を家族構成や年収等の付帯情報により人物像を明確にしてそのニーズを分析し、地方創生、観光等へ活用するとあるが、少し怖いと思う。対象者とは観光客なのか、それとも市民なのか。

(答弁)

検索ビッグデータから、住所地や年齢、性別が大体分かる。それを基に、例えばこのイベントにはこの年代が多く来ているので、他の年代にも来てもらうためには、どのようにすればよいのかといった分析をしながら施策を進めていこうとしている。

おそらく所得等の情報についての心配だと思うが、個人名は除外されている。何歳で所得が幾らぐらいの人なのかを見ているだけである。

(質問)

情報システム標準化事業について、令和 7 年度ま

でに全ての自治体が統一的な基準に適合したシステムに移行するとされているが、中核市市長会において中核市 62 市の移行経費等の調査を実施したところ、移行経費が多額で、国の補助上限額と大きく乖離していることから、令和 5 年 10 月、中核市市長会から全額国庫負担による財政措置を行うよう要望があった。そのため国が国庫補助金を増やし、市財源から持ち出しをしなくてもよくなったということなのか。

(答弁)

中核市や国のアンケートに対して、姫路市では情報システムの標準化に 20 数億円かかると回答している。

国の補助総額は 1,850 億円であったが、5,000 億円ほど積み増して 7,000 億円弱となったため、姫路市への割当も増額される見込みであり、令和 6 年度予算に 16 億円を計上している。

補助対象部分については 10 分の 10 が国負担であり、基本的に予算措置されると思うが、姫路市独自の部分については補助対象外となり、市単独で予算措置することになると考えている。

(質問)

独自施策の部分は市単独予算になるということであるが、幾らぐらいかかると想定しているのか。

(答弁)

現在、標準システムと姫路市のシステムとの違いを調査しているところである。その違いを別枠で作るのか、それとも市独自の事務をやめるのか検証しているため、総額はまだ出せていない。

(質問)

3 月 6 日の神戸新聞に、自治体の業務システム統一化、県内 9 市 2 町間に合わずという記事が掲載されていたが、間に合わない市町の中に姫路市の名前もあった。

そもそも令和 7 年度末までに標準仕様に移行するという国の計画自体に無理があると思っているが、どのようにして間に合わせようと考えているのか。

当面は 20 業務を統一することであるが、姫路市独自の施策がある場合、統一システムにしても大丈夫なのか。

(答弁)

国民健康保険については、令和 7 年度の移行は困難であると国に報告している。

ただし、国民健康保険のやり方を変えることで何とか間に合わないか調整しているところである。

ちなみに、政令市 20 市は全て移行困難ということである。大きな都市になるほど、システムに独自の部分があるので、それを標準化システムに載せるのに時間がかかる。

(質問)

姫路ライフ・スマート都市実装 2024 の姫路市学習プラットフォームについて、教育委員会と連携して立ち上げようとしているのか。

(答弁)

教育委員会と調整しながら進めている。ゲーム感覚のメタバース空間をつくり、そこへアクセスして教科を学習できるようにしたい。

(質問)

子育て・教育情報のパーソナライズ通知サービスについて、民間事業者から保護者に、子どもの学習の進捗状況や教材等に関する情報を知らせるようなものなのか。

(答弁)

子どもがどれぐらい勉強したのか保護者へ通知する仕組みをつくらうとしている。

(質問)

民間事業者がマイナポータルに接続できるようになるのか。

(答弁)

本人の了承が大前提になる。

(質問)

個人は特定されないとのことであるが、税データや介護保険要介護者・要支援者データを集めて、どのような施策を行おうとしているのか。

(答弁)

介護保険については、どのような人がどの介護レベルで、どの地域に介護の認定度合いが高い人が多いのかといったことを調べることで、集中的に何らかの施策を打つ手助けになると考えている。

税データについては、所得が高い地域がこの辺りにあるので、どのような政策を打っていけばよいのかというところを見ることになる。

(要望)

閉会

14時30分

ビッグデータの活用については、あまりよいとは思っていないが、今後もデジタル化の流れは進んでいくと思う。デジタル化が民間のもうけのためではなく、市民サービスの向上に結びつくように取り組んでもらいたい。

デジタル戦略本部終了 14時02分

会計課 14時03分

送付議案説明

・議案第1号 令和6年度姫路市一般会計予算

質疑 14時05分

質問なし

会計課終了 14時06分

【総務委員会（会計課）の審査】

選挙管理委員会事務局 14時12分

送付議案説明

・議案第1号 令和6年度姫路市一般会計予算

質疑 14時14分

質問なし

選挙管理委員会事務局終了 14時15分

【総務委員会（選挙管理委員会事務局）の審査】

議会事務局 14時16分

送付議案説明

・議案第1号 令和6年度姫路市一般会計予算

質疑 14時18分

質問なし

議会事務局終了 14時19分

【総務委員会（議会事務局）の審査】

【総務委員会意見取りまとめ】

意見取りまとめ 14時29分

・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了 14時30分